

オープンサイエンスと科学コミュニケーション

2019年10月1日(火) 15:00~17:00

ゲスト 小野 英理 (京都大学 情報環境機構 特定講師)

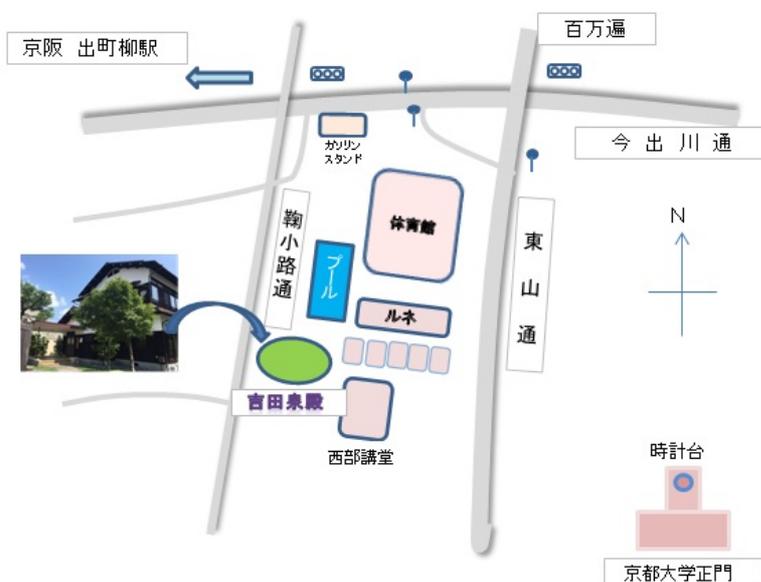
近年よく耳にする「オープンサイエンス」は、研究データを公開する「オープンデータ」、誰でも学術誌を読める「オープンアクセス」、市民が科学研究に参加する「シチズンサイエンス」まで、様々な概念を含む取り組みです。では、その「オープンサイエンス」は、研究者や一般市民など多様なステークホルダー間の対話を促進する「科学コミュニケーション」とどのような関係にあるのでしょうか? 「KYOTO オープンサイエンス勉強会」を主催する京都大学情報環境機構特定講師の小野英理さんのお話をうかがいます。(主催者より)

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 20名程度

- *定員を超えた場合は、協見となります。
- *当日参加も可能です!
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。



持ち物 とくになし

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志 (今回の担当: 清水智樹)

- *この研究会は、京都大学「学問と社会をつなぐコミュニケーション探究ライトユニット」の第3回研究会と共同開催いたします。

お申し込みはコチラから → <https://forms.gle/d7aZZrDJV2nqDij46>